

産業廃棄物等に係る意識調査票

番号印刷部

※記入後は、返信用封筒に産業廃棄物実態調査票
と同封の上、ご返送ください。

【 排出事業者向け 】

問1. 産業廃棄物等の発生抑制（リデュース）の取組状況について

ここで言う発生抑制とは、製品の製造・加工、流通・販売、工事現場での施工・解体等の工程内で生じる産業廃棄物等（副産物等を含む）に対して、製造・流通工程、原材料・燃料、設計・施工法など現行のシステムを見直すことによって、産業廃棄物等そのものの発生量を減らすことをいいます。

- 1) 貴事業所（事務所、工場、作業所、工事現場等を含む。以下、同じ。）では、産業廃棄物の発生抑制に、取り組んでいますか。該当する番号に一つ○印をつけてください。

1. 取り組んでいる → 2)、3)へ
2. 今後取り組む予定 → 2)、3)へ
3. 取り組む予定なし（発生抑制は困難） → 4)へ

- 2) 上記1)で、「1. 取り組んでいる」、「2. 今後取り組む予定」のいずれかに○印をつけた方にお聞きします。それはどのような方法ですか。該当する番号に○印（複数回答可）をつけてください。

1. 廃棄物発生が少ない原材料、機器、製品等の使用による排出抑制
2. 廃棄物発生が少ない設計・工法の採用
3. 包装材・梱包材の使用量の削減又は廃止
4. 耐久性があり、長く使える製品等の設計・製造
5. 分別の徹底による排出抑制
6. ISO14001又はエコアクション21、環境報告書、環境会計等の取り組みの推進
7. その他（具体的に：)

- 3) 上記1)で、「1. 取り組んでいる」、「2. 今後取り組む予定」のいずれかに○印をつけた方にお聞きします。それは主にどんな種類ですか。該当する番号に○印（3つまで）をつけてください。

- | | | |
|----------------------|-----------------|-------------|
| 1. 燃え殻 | 2. 汚泥 | 3. 廃油 |
| 4. 廃酸 | 5. 廃アルカリ | 6. 廃プラスチック類 |
| 7. 紙くず | 8. 木くず | 9. 繊維くず |
| 10. 動植物性残さ | 11. ゴムくず | 12. 金属くず |
| 13. ガラス・コンクリート・陶磁器くず | 14. 鋳さい | 15. がれき類 |
| 16. 動物系固形不要物 | 17. ばいじん | 18. 混合物・複合物 |
| 19. 感染性廃棄物 | 20. その他（具体的に：) | |

- 4) 上記1)で、「3. 取り組む予定なし」に○印をつけた方にお聞きします。それはどのような理由ですか。該当する番号に○印(複数回答可)をつけてください。

- 1. 人的な余裕がない
- 2. 費用がかかる
- 3. 技術的、物理的に困難(分別が困難、有害物質を含有等)
- 4. 発生量が非常に少ない
- 5. その他(具体的に:)

問2. 産業廃棄物等の中間処理による減量化(減容化を含む)の取組状況について

- 1) 貴事業所では、産業廃棄物等の中間処理による減量化・減容化(委託業者による処理を含む)に取り組んでいますか。該当する番号に一つ○印をつけてください。

- 1. 取り組んでいる
- 2. 今後取り組む予定
- 3. 取り組む予定なし

- 2) 上記1)で、「1. 取り組んでいる」、「2. 今後取り組む予定」のいずれかに○印をつけた方にお聞きします。それはどのような方法ですか。該当する番号に○印(複数回答可)をつけてください。

- 1. 焼却(焼成、溶融を含む)
- 2. 破碎
- 3. 脱水
- 4. 乾燥(天日・機械)
- 5. 固形化、固化
- 6. 圧縮
- 7. その他(具体的に:)

- 3) 上記2)で、「1. 焼却」に○印をつけた方にお聞きします。焼却に伴って熱回収を行っていますか。該当する番号に○印をつけてください。

ここで熱回収とは、ボイラー又は熱交換器等を用いて、発電あるいは製品等の乾燥・濃縮、場内・関連施設での給湯・冷暖房等の熱源利用を行うことをいいます。

- 1. 自社で熱回収を行わず単純焼却している
- 2. 自社で熱回収を行っている
- 3. 委託先で熱回収を行わず単純焼却している
- 4. 委託先の認定熱回収施設設置者※で熱回収を行っている
- 5. 委託先で熱回収を行っている(認定熱回収施設設置者以外)

※廃棄物処理法第15条の3の3第1項の認定を受けた事業者。

→<https://www.env.go.jp/content/000232522.pdf>

問3. 産業廃棄物等抑制のための再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)の取組状況について

- 1) 貴事業所では、産業廃棄物等抑制のための再使用、再生利用(委託業者による処理を含む)に取り組んでいますか。該当する番号に一つ○印をつけてください。

- 1. 取り組んでいる → 2)、3)へ
- 2. 今後取り組む予定 → 2)、3)へ
- 3. 取り組む予定なし → 4)へ

- 2) 上記1)で、「1. 取り組んでいる」、「2. 今後取り組む予定」のいずれかに○印をつけた方にお聞きします。それはどのような方法ですか。該当する番号に○印（複数回答可）をつけてください。

1. 再使用・再生利用を考慮した分別
2. 再使用・再生利用のしやすさを考慮した製品等の設計、製造
3. 自社製品の原料・副原料としての再使用
4. 自社製品での水平リサイクル※
5. 他社製品の原料・副原料としての再生利用（売却等）
6. 使用済製品・再生品等の調達（グリーン購入）
7. 再使用・再生利用の自社の取組に係る施設見学等の受入
8. 再生利用ができる業者への委託
9. その他（具体的に： _____）

※水平リサイクルとは、使用済製品等を原材料として用いて再び同一種類の製品を製造すること。

- 3) 上記1)で、「1. 取り組んでいる」、「2. 今後取り組む予定」のいずれかに○印をつけた方にお聞きします。それは主にどんな種類ですか。該当する番号に○印（3つまで）をつけてください。

- | | | |
|----------------------|----------------------|-------------|
| 1. 燃え殻 | 2. 汚泥 | 3. 廃油 |
| 4. 廃酸 | 5. 廃アルカリ | 6. 廃プラスチック類 |
| 7. 紙くず | 8. 木くず | 9. 繊維くず |
| 10. 動植物性残さ | 11. ゴムくず | 12. 金属くず |
| 13. ガラス・コンクリート・陶磁器くず | 14. 鋳さい | 15. がれき類 |
| 16. 動物系固形不要物 | 17. ばいじん | 18. 混合物・複合物 |
| 19. 感染性廃棄物 | 20. その他（具体的に： _____） | |

- 4) 上記1)で、「3. 取り組む予定なし」に○印をつけた方にお聞きします。それはどのような理由ですか。該当する番号に○印（複数回答可）をつけてください。

1. 人的な余裕がない
2. 費用がかかる
3. 技術的、物理的に困難（分別が困難、有害物質を含有等）
4. 発生量が非常に少ない
5. 情報が無い → 5)へ
6. その他（具体的に： _____）

- 5) 上記4)で、「5. 情報が無い」に○印をつけた方にお聞きします。どのような情報が必要だと思いますか。該当する番号に○印（複数回答可）をつけてください。

1. リサイクルができる業者の一覧
2. リサイクルの方法や技術開発に関する情報
3. リサイクルに関する先進事例の紹介
4. その他（具体的に： _____）

- 6) 今後、委託によって再生利用（リサイクル）を考える際、必要となる施設はどのような施設が考えられますか。該当する番号に○印（複数回答可）をつけてください。

- | | | |
|---------------------|-----------|-------|
| 1. 焼却（焼成、溶融を含む） | 2. 破碎 | 3. 脱水 |
| 4. 乾燥（天日・機械） | 5. 固形化、固化 | 6. 圧縮 |
| 7. その他（具体的に： _____） | | |

問4. 産業廃棄物の適正処理について

最終的な適正処理の責任は排出事業者にあることを踏まえ、貴事業所では、どのような点に着目して委託事業者を選んでいますか。該当する番号に○印（複数回答可）をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価制度に適合している事業者 |
| 2. 環境配慮の取組みを積極的に行っている事業者（ISO14001やISO26001等を取得） |
| 3. 環境保全活動に積極的に取り組んでいる事業者 |
| 4. 処理方法や実績など施設の情報をインターネット等で積極的に公表している事業者 |
| 5. リサイクルを積極的に展開している事業者 |
| 6. 料金の安さ、運搬距離の近さなど、利便性の高い事業者 |
| 7. 委託していない |
| 8. その他（具体的に _____） |

問5. 事業系一般廃棄物について

- 1) 貴事業所では、事業系一般廃棄物※の発生抑制、再使用、再生利用に取り組んでいますか。該当する番号に一つ○印をつけてください。

- | | | |
|------------------------|---|------|
| 1. 取り組んでいる | → | 2) ^ |
| 2. 今後取り組む予定 | → | 2) ^ |
| 3. 取り組む予定なし（理由： _____） | | |

※事業系一般廃棄物とは、事業活動から発生する廃棄物のうち、産業廃棄物以外のもの。

- 2) 上記1)で、「1. 取り組んでいる」、「2. 取り組む予定」に○印をつけた方にお聞きします。取組みに当たってどのような課題がありますか。該当する番号に○印（複数回答可）をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 情報が不足している |
| 2. 処理を委託できる業者が少ない（知らない） |
| 3. その他（具体的に： _____） |

問6. 産業廃棄物税について

県では、平成17年4月1日から「産業廃棄物税」を導入しています。排出事業者が負担する税であり、その税収は ①排出の抑制及び再利用、再生利用の推進、②適正処理の促進、③啓発や活動の促進 の3つを柱とする施策に充てています。現行の税制度について、貴事業所ではどのようにお考えですか。該当する番号に一つ○印をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 排出抑制、埋立処分抑制に一定の効果があり、現行の内容で存続すべきである |
| 2. 社会情勢等の観点から存続はやむを得ない |
| 3. 排出抑制、埋立処分抑制に効果がないので廃止すべきである |
| 4. その他（具体的に： _____） |

※税制度・使途等については、県のホームページの税務課のサイトをご覧ください。

問7. 県の廃棄物関連施策について

県では、廃棄物処理計画に掲げる目標達成のため、様々な施策に取り組んでいます。今後どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。該当する番号(3つまで)に○印をつけてください。

1. 発生した廃棄物は、発生地域内で適正に処理する処理体制の整備
2. 未利用資源・廃棄物系バイオマスの地域内利用・活用の促進・支援
3. 産業廃棄物の発生状況、処理施設、処理・処分状況等についての情報公開
4. 産業廃棄物処理業者に対する監視・指導体制の強化
5. 不法投棄等に対する迅速な対応と厳しい取り締まり
6. 優良な産業廃棄物処理業者の支援と育成
7. 産業廃棄物処理についての県民の知識と理解を深めるための啓発活動
8. 廃棄物処理法などの法令に関する研修・情報提供等
9. 減量化、リサイクルに関する情報発信
10. 県によるリサイクル製品の認証
11. グリーン購入の推進
12. 減量化、リサイクルに関する研究・施設整備等への補助
13. レジ袋削減、食品ロス削減など地域・関係団体等による取組みの促進・支援
14. その他（具体的に： _____）

問8. プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について

- 1) 国では令和元年に「プラスチック資源循環戦略」を策定し、令和4年からは「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、廃プラスチックの排出抑制と再資源化の取組みの促進が図られています。

貴事業所における廃プラスチックの排出抑制と再資源化の取組みについて、該当する番号に一つ○印をつけてください。

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律では、事業者は、その事業活動に伴い生ずるプラスチック使用製品産業廃棄物等を適正に処理する責任を有していますが、加えて、一層のプラスチックの資源循環の促進のため、積極的なプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制・再資源化等が求められています。

1. 既に廃プラスチックの削減・再資源化が進んでおり、さらに取組みを促進する必要はない
2. 廃プラスチックの削減・再資源化に取り組んでおり、今後もさらなる促進が必要
3. 廃プラスチックの削減・再資源化はあまり進んでいないが、今後取り組む予定
4. 廃プラスチックの削減・再資源化はあまり進んでおらず、今後取り組む予定はない
5. 廃プラスチックの排出がない

- 2) 上記1)で、「1」、「2」、「3」に○をつけた方にお聞きます。貴事業所で取り組んでいるまたは取り組む予定の廃プラスチックの排出抑制または再資源化の取組みについて、該当する番号に○印(複数回答可)をつけてください。

1. 製造するプラスチック使用製品の材料減量化、包装の簡素化、単一素材化、分解・分別の容易化等
2. 製造するプラスチック使用製品のプラスチック以外の素材への代替、再生プラスチックの利用、バイオプラスチックの利用等
3. 使い捨てプラスチック使用の見直し・合理化による排出削減
4. 廃プラスチックの再資源化（マテリアルリサイクル）
5. 廃プラスチックの再資源化（ケミカルリサイクル）
6. 廃プラスチックの再資源化（サーマルリサイクル）
7. その他（具体的に： _____）

問9. サークュラーエコノミーへの転換について

- 1) サークュラーエコノミー(循環経済)とは、従前の大量生産・大量消費を前提とする経済から脱却した資源の循環を柱とする新たな経済システムのことであり、EUが2015年に採択した「EU新循環経済政策パッケージ」で提唱された概念で、欧州では既に多くの政府が国家政策の軸に据えて取組を進めています。日本でも2030年までに循環経済関連ビジネスの市場規模を、現在の約50兆円から80兆円以上にするという目標を掲げています。
サーキュラーエコノミーについて、該当する番号に○印(複数回答可)をつけてください。

1. 全く知らない（初めて知った）
2. 概念を知っているが実践していない
3. 一部実践している
4. 全面的に実践している

- 2) サークュラーエコノミーは、「ごみや汚染を出さない設計にする」「製品や原材料を捨てずに使い続ける」「自然システムを再生させる」という3つの原則の上に成り立っています。
貴事業所としての取組みに近い番号に○(複数回答可)印をつけてください。

1. ごみ・汚染を出さない設計
2. 製品や原材料を捨てずに使い続ける
3. 化石燃料などの天然資源（非再生資源）の使用を避け、再生可能資源（バイオマス、リサイクル資材等）を活用する
4. 取組みを実施していない
5. どれが近いものかわからない

- 3) サークュラーエコノミーを実践していくにあたり、貴事業所における課題はどのようなことがありますか。該当する番号に○印(複数回答可)をつけてください。

1. 設備投資等のコストの増加
2. 技術的な制約がある
3. 実践するための人材が不足している
4. 法規制の理解不足
5. 顧客の理解と協力不足
6. どう取り組んでいいかわからない
7. その他（具体的に： _____）

問10. 食品廃棄物に対する取組について

- 1) 食品ロスの削減及び食品廃棄物の発生抑制・リサイクルの推進に向け、貴事業所ではどのような取組みをしていますか。該当する番号に○印(複数回答可)をつけてください。

※ 食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。主に食べ残しや過剰除去、賞味期限切れによる直接廃棄、規格外品等を指します。

※ 食品廃棄物とは、食品ロスに加え、魚や肉の骨など廃棄される不可食部を含みます。

食品ロスの削減の推進に関する法律では、事業者は、その事業活動に関し、国又は地方公共団体が実施する食品ロスの削減に関する施策に協力するよう努めるとともに、食品ロスの削減について積極的に取り組むよう努めるものとするものと定められています。

1. 商習慣見直し(賞味期限の延長・年月表示化、納品期限の見直し)
2. 余剰食品のフードバンク・子ども食堂などへの寄付
3. 需要に見合った製造・販売の推進
4. 消費者への啓発(てまえどりの促進など)
5. 小容量販売・量り売り・バラ売り
6. 調理ロス削減
7. 食べきり・持ち帰りの促進(提供量の調整・持ち帰り容器の準備)
8. 食品廃棄物の減量化・資源化

※ 減量化・資源化の方法についても○をお願いします

(飼料化・肥料化・生ごみ処理機・エネルギー利用)

9. その他(具体的に:)

10. 特に行っていない

11. 食品廃棄物は発生しない

問11. 太陽光パネルの処理について

2012年以降のFIT制度導入後多くの太陽光パネルが設置されてきましたが、昨今はその太陽光パネルの廃棄量が増加してきていると言われ、今後も増加する見込みとなっています。貴事業者では、太陽光パネルの処理について、現状困っていることはありますか。該当する番号に○印をつけてください。

1. リサイクル先が分からない
2. リサイクル費用が高額
3. その他(具体的に:)
4. 課題なし
5. 太陽光パネルは設置していない

問12. 廃棄物処理に係るデジタル化について

昨今の人材不足解消や、サーキュラー・エコノミーへの転換のため、廃棄物処理等のシステム強化や効率化に向け、事業者のデジタル・トランスフォーメーション化が進んでいます。貴事業所で既に導入しているIT技術と今後新たに導入したいと考えているIT技術について、該当する番号(複数可)それぞれに○印をつけてください。

	既に導入	今後導入したい
電子マニフェスト	1	1
処理業者との電子契約	2	2
AIによる分別・選別	3	3
廃棄物データシート(WDS)の活用	4	4
トレーサビリティの導入	5	5
その他(具体的に:)	6	6

問13. 優良産廃処理業者認定制度について

- 1) 優良産廃処理業者認定制度についてご存知ですか。該当する番号に一つ○印をつけてください。

優良産廃処理業者認定制度とは、通常の許可基準よりも厳しい基準に適合した優良な産廃処理業者を、県や政令市が審査して認定する制度です。認定を受けるためには、事業の透明性や財務体質の健全性等の基準に適合することが必要です。

1. 知っている → 2)へ
2. 知らない

- 2) 上記1)で、「1. 知っている」に○印をつけた方にお聞きします。貴事業所が産業廃棄物を処理業者に委託する際、優良産廃処理業者認定を受けている事業者を意識しますか。該当する番号に○印をつけてください。

1. 優良認定業者にしか委託していない
2. 優先的に優良認定業者へ委託している
3. 特に意識はしていない

問14. 最終処分場について

貴事業所が産業廃棄物を最終処分する際、最終処分場について困っていることはありますか。該当する番号に○印をつけてください。

また、困っている場合はその理由も該当する番号に○印(複数回答可)をつけてください。

1. 困っている
→困っている要因: 1.処分量が高額 2.処分場が遠い 3.受け入れ基準が厳しい
4.その他(具体的に:)
2. 困っていない

問15. 新型コロナウイルス感染症の影響について

貴事業所では、新型コロナウイルス感染症によるコロナ禍の前後で、ごみの排出量に変化がありましたか。該当する番号に一つ○印をつけてください。

1. 排出量が増加した
2. ほぼ変わらない
3. 排出量が減少した